

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業  
開院支援業務委託に係るプロポーザル審査結果報告書

令和8年6月26日

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業  
開院支援業務委託に係るプロポーザル審査委員会

## 1 審査結果

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業開院支援業務委託に係るプロポーザル審査委員会（以下、「プロポーザル審査委員会」という。）による公平・公正な審査を実施した結果、次のとおり決定いたしました。

<p>○ 受注候補者</p> <p>株式会社 医療開発研究所</p> <p>○ 次点者</p> <p>株式会社 病院システム</p>
--

## 2 審査の経過

### (1) 選定スケジュール

一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業開院支援業務委託（以下、「本業務」という。）の受注候補者選定までのスケジュールを示します。

日 程	内 容
令和8年3月18日（木）	第1回プロポーザル審査委員会
令和8年4月21日（火）	公 告
令和8年5月18日（月）	参加申込提出期限
令和8年6月 8日（月）	企画提案書提出期限
令和8年6月19日（金）	プレゼンテーション及びヒアリング並びに第2回プロポーザル審査委員会の開催。同日、受注候補者決定

### (2) 参加資格審査（令和8年5月18日）

参加資格審査は、参加表明があった3者について、提出された参加申込書等の書類により審査を行いました。審査は、一部事務組合下北医療センターむつ総合病院再建事業開院支援業務委託に係るプロポーザル実施要領に基づき、審査した結果、1者に関しては参加要件を満たさず、2者が参加要件を満たしていることを確認しました。

### (3) プレゼンテーション及びヒアリング審査（令和8年6月19日）

匿名化した2者の企画提案書（参加申込受付順に業者A、業者Bと表記）をもとに、プレゼンテーション並びにヒアリングを実施し、終了後、第2回プロポーザル審査委員会を開催。受注候補者を決定しました。

### 3 講評

本業務は、設計と並行して、病院内の各部門における運営計画の策定及び現病院の医療機器の移設を含めた医療機器整備の計画策定並びに病院における医療情報システム構築に係る支援等、必要な業務を円滑に進めるなどの多岐にわたる業務に対応し得る、豊富な実績と高い提案能力が求められました。プロポーザルの審査においては、それらの業務に係る知見を有した上で、開院に向け特に重要と考えられる課題を選定し、解決に向けた取り組みを記載する課題の抽出及び解決法の提案力を有する提案者と共に一日も早い安全・安心な病院再建を計画的に進めるため、次に示す5課題を提案課題としました。

課題1 本業務における基本的な考え方や業務の進め方、業務を進めていく上において、課題・ポイントとなり得ると判断する部分、全体のスケジュールについて記載すること

課題2 運営計画策定についてむつ総合病院再建基本計画に沿った病院運営をするために、基本設計段階で実施すべき具体的な作業内容・実施時期・手法等について記載すること

課題3 医療機器・什器・備品を確実、かつ、効率的に整備するために、基本設計段階で実施すべき具体的な作業内容・実施時期・手法等について記載すること

課題4 医療情報システムの構築を確実、かつ、効率的に行うために、基本設計段階で実施すべき具体的な内容・実施時期手法について記載すること

課題5 新病院開院に向けて想定される特に重要と考えられる課題を選定し、それを課題として抽出した理由と解決に向けた取り組みについて、記載すること

結果、いずれの参加者も豊富な知識と経験に基づいた企画提案をいただき、甲乙つけ難いという評価が大半でありました。

その中で、受注候補者に選定した「株式会社 医療開発研究所」については、開院時期のみならず、現状の経営という部分に目を向けた厚みのある提案をしていただき、特殊な地域にあるむつ総合病院について何とか新病棟を我々と協力して建設するという気概が強く感じられました。上記の評価点を踏まえ、全体を通じてバランス良くまとめられており、総合的に判断し、受注候補者に選定いたしました。

本業務においては、短い期間の中、参加していただいたすべての皆様へ心よりお礼申し上げます。

一部事務組合下北医療センターむつ総合病再建事業  
開院支援業務委託に係るプロポーザル審査委員会  
委員長 松浦 修